

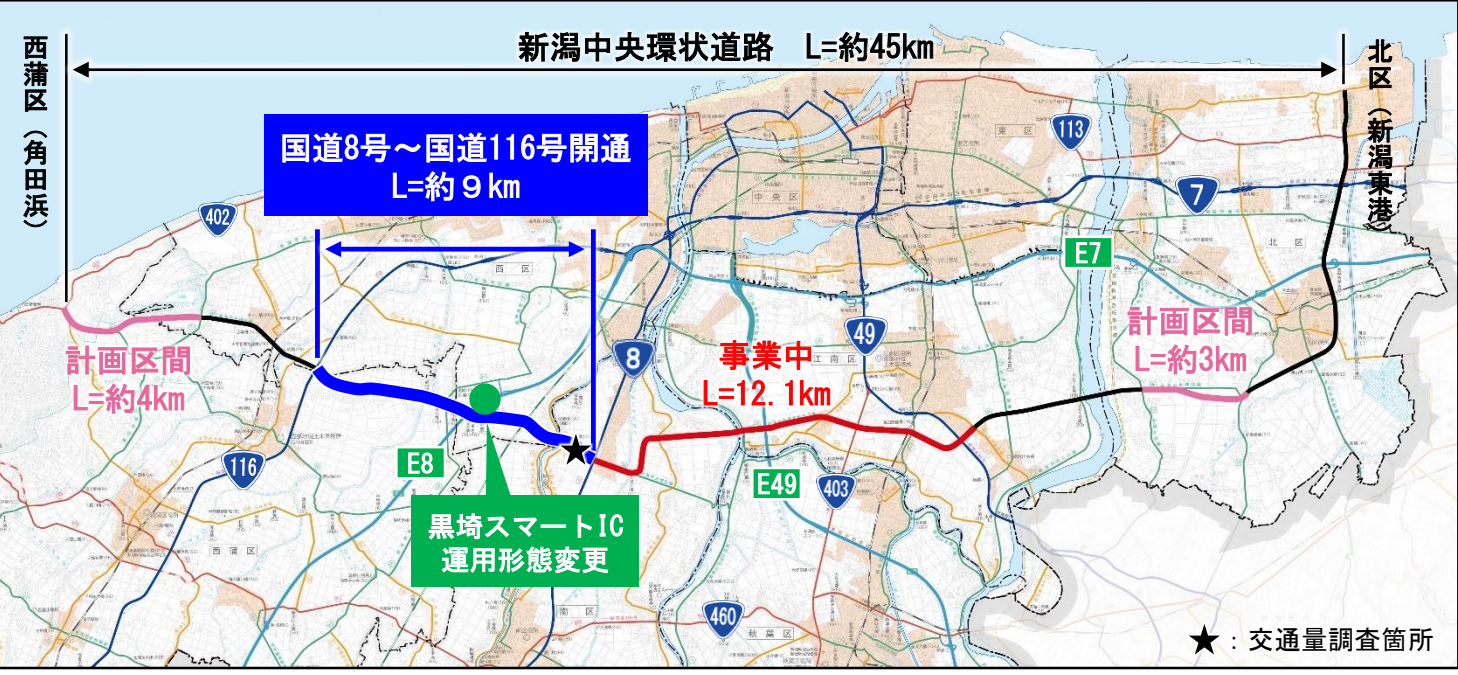
新潟中央環状道路(国道8号～116号間)の開通および北陸自動車道 黒埼スマートICの運用形態変更後の事業効果について

1. 事業概要

- 新潟中央環状道路は、多核連携型の都市構造を構築するための道路ネットワークの1つとして、北区（新潟東港）を起点に江南区、南区、西区を經由し、西蒲区までを環状型に結ぶ延長約45kmの幹線道路である
- このうち、国道8号から国道116号の区間（約9km）が昨年3月25日に開通した。また、開通にあわせ黒埼スマートICと直結させて利用時間を24時間とし、大型車も対応できるよう運用形態を変更した

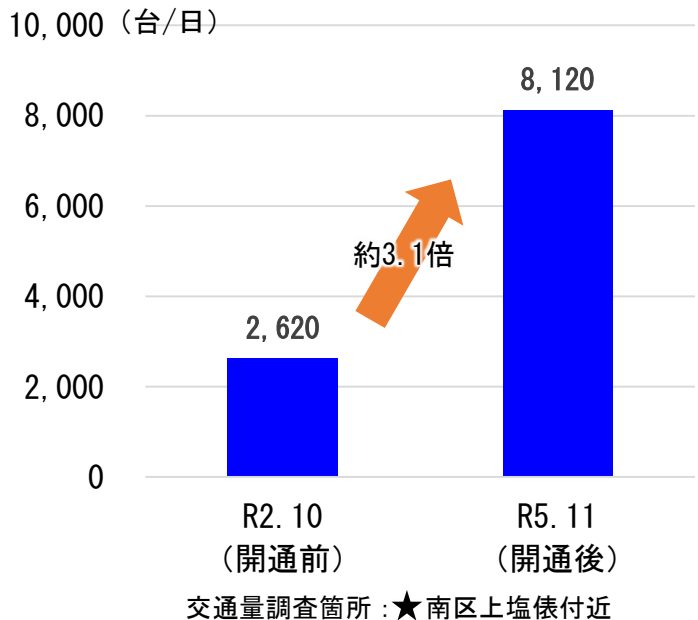
黒埼スマートICの運用形態変更内容

- ・ 利用時間：（変更前）午前6時から午後10時まで → **（変更後）24時間利用可能**
- ・ 対象車種：（変更前）中型車まで利用可能 → **（変更後）全車種利用可能**

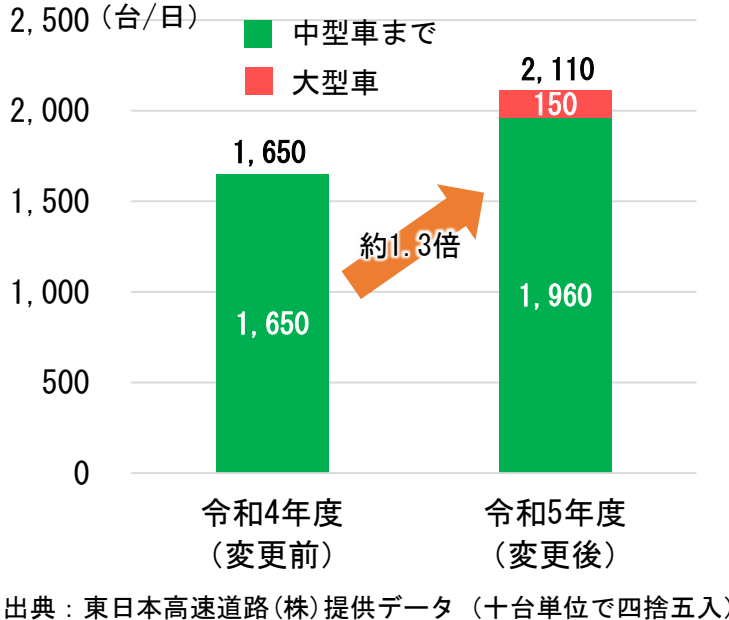


2. 交通量の変化

1 新潟中央環状道路の利用交通量



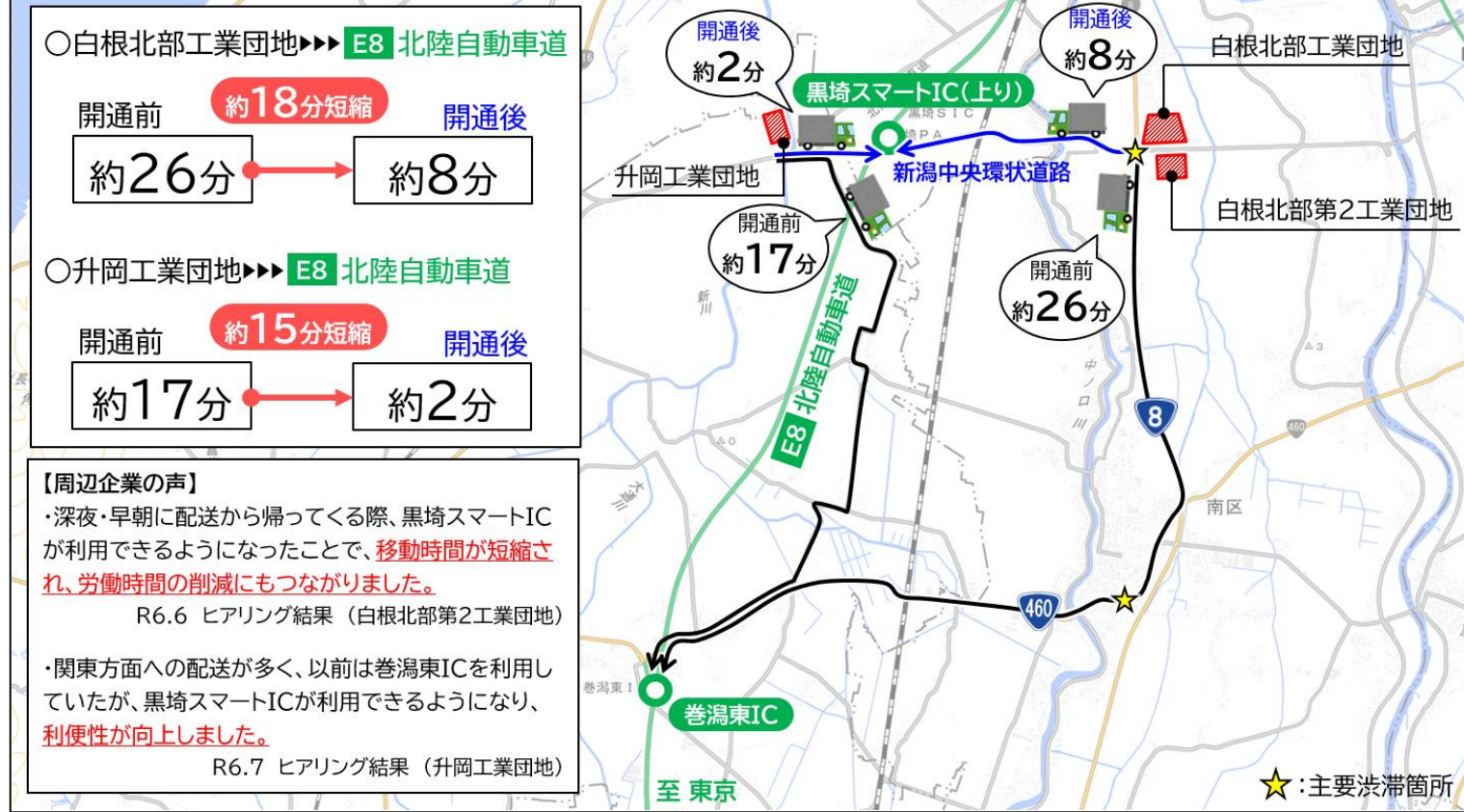
2 黒埼スマートICの利用交通量



3. 整備効果

1 物流効率化 **活力を生む**

当該区間の開通と黒埼スマートICの運用形態変更により、特に黒埼スマートIC周辺の工業団地から北陸自動車道までの**大型車のアクセス時間が短縮**され、物流の効率化が図られた



2 救急医療への貢献 **生命を守る**

黒埼スマートICが上下線ともに24時間利用できることで、**安定した救急・救命活動の支援**に繋がった

3 市民生活の利便性の向上 **快適な暮らし**

新たに中ノ口川をまたぐ橋ができたことで、**通勤・買物など日常の利便性が向上**した

4 交流・地域連携の促進 **魅力をつなぐ**

黒埼スマートIC周辺には商工業施設、観光施設が点在しており、黒埼スマートICの運用形態変更により観光バスの利用など**さらなる地域振興・産業活性化の支援が期待**される

